

豊岡理研研究員ら4人表彰

風戸研究奨励会

【立川】風戸研究奨励会(東京都昭島市、田中通義理事長、042-542・2106)は、電子顕微鏡を用いた研究などで優れた業績を挙げた若手研究者らの表彰制度で、豊

岡公德理化学研究所植物科学研究センター上級研究員ら4人への贈賞を決め、授賞式を開いた。

同会は日本電子が事務局を務める。6回目となる今回は研究業績をたてる「風戸賞」、研究提案に対して研究費を助成する「風戸研究奨励賞」を選考。風戸賞には副賞

50万円、奨励賞は助成研究費200万円を贈った。

受賞者は次の各氏。カッコ内は研究テーマ。(敬称略)

【風戸賞】▽豊岡公德氏(電子顕微鏡法による新規細胞内小胞輸送経路の解明)▽柴田直哉(東大院工学系研究科准教授(円環状明視野および差

分位相コントラストSTM法による材料界面の研究)

【風戸研究奨励賞】▽釜崎とも子(名大院理学研究科博士研究員(三次元トモグラフィ法による紡錘体形成メカニズムの解析)▽田中将己(九大院准教授(収差補正付きHRTM法による原子歪み場の直接解析)

